

取扱説明書




WAVE 音声出力ユニット

WAV2000 / WAV2000-AC

99-WAV-2-UM-01

このたびは、WAVシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

<p>安全に関するご注意</p> 	<ul style="list-style-type: none">●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。
<p>注意</p> 	<p>感電事故を避けるために</p> <ul style="list-style-type: none">●本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。●ボードタイプの場合、漏電事故や感電を避けるために、ケースや盤内に収納してご使用下さい。
<p>注意</p> 	<p>故障を避けるために</p> <ul style="list-style-type: none">●本装置の定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。●本装置の設置、接続、使用方法に関しては本取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。

VoiceNavi

VoiceNavi 三共電子株式会社

目次

1 . 概要	3
2 . 特長	3
3 . 主な用途	3
4 . 登録時間	3
5 . 仕様 WAV 2 0 0 0	4
5 . 仕様 WAV 2 0 0 0 - A C	5
6 . 外観図並びに外形寸法図	6
7 . 付属品及びオプション	7
8 . 適用音源	7
9 . 適用メモリカード並びにカードデータ作成ソフト	7
1 0 . 設置方法	7
1 1 . 接続	7
1 2 . 設定	8
1 3 . WAVE ファイル製作、カードデータ製作、スマートメディアへのコピー	8
1 4 . スマートメディアのセット	8
1 5 . メッセージ/接点・アドレス対応	8
1 6 . プログラム再生登録機能	10
1 7 . 制御方法	10
1 8 . 音量調整	10
1 9 . 各部の名称と機能	10
2 0 . 使用電源	11
2 1 . モードスイッチの設定	12
2 2 . 入出力信号	13
2 3 . 再生モード	13
2 4 . タイマー	16
2 5 . 自己復旧機能(ウォッチドックタイマー利用)	16
設置参考図	
1 . ビス止めによる設置	17
2 . D I N レールへの設置	17
3 . L 金具使用による設置	17
接続参考図	
1 . 接点制御の場合	18
2 . バイナリ制御の場合	18
3 . シーケンサ等との接続例	19
困った時に	20

シーケンサ等の、制御機器と接続して御使用になる場合は、必ず接続参考図を参照のうえ、御使用願います。

VoiceNavi

1. 概要

本装置は、音源にパソコンの標準サウンド PCM 録音方式の WAVE ファイル、記憶媒体にデジタルカメラの標準メモ리카ード スマートメディアを採用した WAVE 音声出力ユニットです。

パソコンで録音した WAVE ファイルをそのまま音源として、記憶媒体のスマートメディアへコピーして使用できます。

入出力 I/F にフォトカプラを採用し、産業機器、FA 機器等の工場ライン設備などの音声ガイド・音声警報に適しています。

2. 特長

音源にパソコンの標準サウンド「WAVE ファイル」採用。

記憶媒体にデジタルカメラの標準メモ리카ード「スマートメディア」を採用。

高音質サンプリング 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 対応

スピーカー出力 5 Wmax. 8

8 接点制御（用途別再生モード搭載） / 1 2 8 CH バイナリ制御

プログラム再生登録対応 1 接点 8WAVE ファイル、5 回リピート再生設定

インターバルタイマー 0/10/15/20/30/40/45/60 秒

スクリューレス端子台

DIN レール / L 金具 / 直接ビス止め 3 方式の固定に対応

136W × 215D × 44H mm (WAV2000) 210W × 215D × 44H mm (WAV2000-AC)

DC + 24V 電源対応 (WAV2000) AC 100V または DC + 24V の 2 電源対応 (WAV2000-AC)

3. 主な用途

工場ライン設備の音声ガイド・音声警報

少量多品種の産業機器・FA 機器の音声ガイド・音声警報

海外使用の少量多品種の産業機器・FA 機器の音声ガイド

中大型医療機器の音声ガイド / 警報

4. 登録時間

サンプリング周波数、スマートメディアのカード容量による。

カード容量	サンプリング周波数 KHz		
	11.025	22.05	44.1
4MB	5.6	2.8	1.4
8MB	11.2	5.6	2.8
16MB	22.4	11.2	5.6
32MB	44.8	22.4	11.2

PCM 8Bit 1/1 単位：分 max.

VoiceNavi

5.仕様 WAV2000

定格使用電圧	DC+2.4V±10%	スクリューレス端子台
消費電流	待機時 約140mA (DC+2.4V時) 最大時 約500mA (DC+2.4V時)	
寸法・重量	136W X 215D X 44H (mm)突起部含まず	約2Kg
塗装・仕上	メッキ仕上げ	
使用温度範囲	-5 ~ 55	
保存温度範囲	-10 ~ 70	
使用湿度範囲	35%~80%RH (但し結露なき事)	
音声出力	スピーカ出力 5Wmax 8 LINE出力 -6dBm 600 (不平衡)	スクリューレス端子台 専用CNにて取出し
音量調整	SP OUT 外部可変ボリューム(リアパネル)	
制御	入力部 /SW1~SW8 (/D0~D7), /STOP, /OP (/ST) 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ 出力部 /BUSY オープンコレクタ出力 (DC+3.0V, 10mA)	スクリューレス端子台 スクリューレス端子台
再生モード	接点制御時 1.通常再生 2.入力中再生 3.順番(インクリメント)再生 4.優先順位再生 5.後入力切替再生 バイナリ制御 DIP SW で接点/バイナリ制御及び再生モード(接点のみ)設定	
タイマー	通常タイマー(インターバル用) 0/10/15/20/30/40/45/60 DIP SW で設定	
適用メモ리카ード	スマートメディア 4MB / 8MB / 16MB / 32MB 3.3Vタイプ 1枚max.	
再生チャンネル数	接点制御時 8接点max バイナリ制御 128CHmax 強制停止コード: 00H プログラム再生登録対応	
再生方式	48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 混在可 PCM 8Bit モノラル (WAVE ファイル)	
再生帯域	300Hz ~ 10KHz	
登録時間	カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による 5.6分 / 11.2分 max. 44.1KHz 16MB/32MB 11.2分 / 22.4分 max. 22.01KHz 16MB/32MB 22.4分 / 44.8分 max. 11.025KHz 16MB/32MB	
再生時間	プログラム再生登録機能を採用した場合、プログラムによる	
プログラム再生登録機能	本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 上で設定します。 組立再生登録 1接点 8WAVE ファイル max. リピート回数登録 1接点 5回 max.	
適用音源・録音装置	WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit Mono Windows95/98 パソコンの録音機能による	
適用カードデータ作成ソフト	VoiceMaker3 for windows95/98 WAVE ファイル登録・プログラム再生登録・レポート作成機能他	

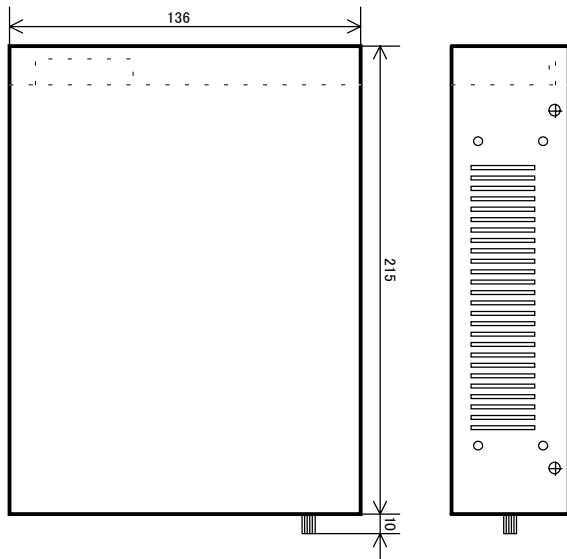
5.仕様 WAV2000-AC

VoiceNavi

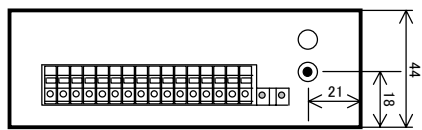
定格使用電圧	AC100V 50/60Hz またはDC+24V±10%	AC電源コード スクリューレス端子台
消費電流	待機時 約80mA (AC100V時) / 約140mA (DC+24V時) 最大時 約250mA (AC100V時) / 約500mA (DC+24V時)	
寸法・重量	210W X 215D X 44H (mm) 突起部含まず 約3Kg	
塗装・仕上	メッキ仕上げ	
使用温度範囲	-5 ~ 55	
保存温度範囲	-10 ~ 70	
使用湿度範囲	35% ~ 80% RH (但し結露なき事)	
音声出力	スピーカ出力 5Wmax 8 LINE出力 -6dBm 600 (不平衡)	スクリューレス端子台 専用CNにて取出し
音量調整	S P O U T 外部可変ボリューム(リアパネル)	
制 御	入力部 /SW1~SW8 (/D0~D7), /STOP, /OP (/ST) 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ 出力部 /BUSY オープンコレクタ出力(DC+3.0V, 10mA)	スクリューレス端子台 スクリューレス端子台
再生モード	接点制御時 2. 通常再生 2. 入力中再生 3. 順番(インクリメント)再生 4. 優先順位再生 5. 後入力切替再生 バイナリ制御 DIP SW で接点/バイナリ制御及び再生モード(接点のみ)設定	
タイマー	通常タイマー(インターバル用) 0/10/15/20/30/40/45/60 DIP SW で設定	
適用メモリカード	スマートメディア 4MB / 8MB / 16MB / 32MB 3.3V タイプ 1枚 max.	
再生チャンネル数	接点制御時 8接点 max バイナリ制御 128CHmax 強制停止コード: 00H プログラム再生登録対応	
再生方式	48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 混在可 PCM 8Bit モノラル (WAVE ファイル)	
再生帯域	300Hz ~ 10KHz	
登録時間	カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による 5.6分 / 11.2分 max. 44.1KHz 16MB/32MB 11.2分 / 22.4分 max. 22.01KHz 16MB/32MB 22.4分 / 44.8分 max. 11.025KHz 16MB/32MB	
再生時間	プログラム再生登録機能を採用した場合、プログラムによる	
プログラム再生登録機能	本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 上で設定します。 組立再生登録 1接点 8WAVE ファイル max. リピート回数登録 1接点 5回 max.	
適用音源・録音装置	WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit Mono Windows95/98 パソコンの録音機能による	
適用カードデータ作成ソフト	VoiceMaker3 for windows95/98 WAVE ファイル登録・プログラム再生登録・レポート作成機能他	

6. 外観図並びに外形寸法図

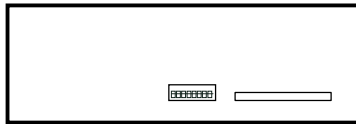
VoiceNavi



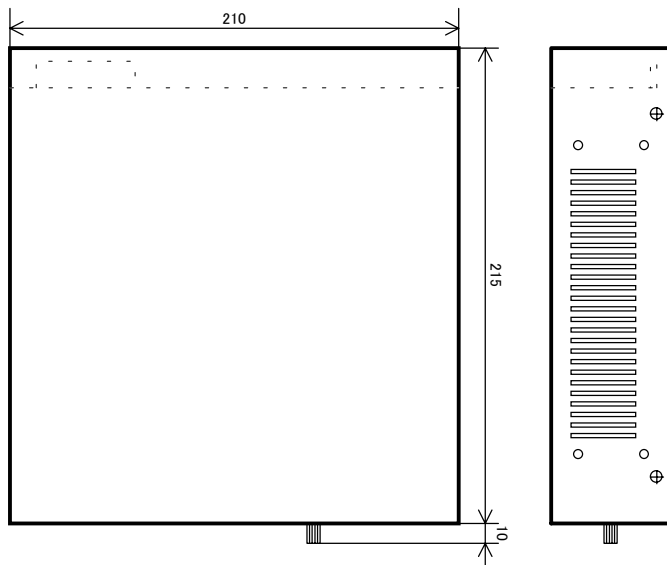
WAV2000



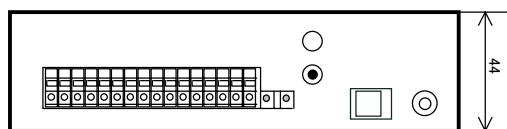
正面



後面



WAV2000-AC



正面



後面

7. 付属品及びオプション

付属品

VoiceNavi

1. 取扱説明書
2. 保証書

オプション

1. スマートメディア 4MB/8MB/16MB/32MB 3.3V タイプ
2. L金具 WAV-LKANAGU 盤内・壁面取付用 1組2個
3. DINレール専用取付足 CKD-120(タカチ製) 1組2個
4. ラインアウト用コネクタケーブル CK-LER2 1m

8. 適用音源

下記の WAVE ファイルが使用できます。

WAVE ファイル 48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit MONO

9. 適用メモリカード並びにカードデータ作成ソフト

1. 適用メモリカード スマートメディア 4MB 8MB 16MB 32MB 3.3V タイプ

(注)購入した場合、パソコン上でフォーマット(初期化)してご使用下さい。

2. 適用カードデータ作成ソフト

本装置で使用するスマートメディアへ収納するカードデータは、下記のソフトウェアで作成します。

WAVE ファイルを接点・アドレスに割り付けをします

ボイスメーカースリー VoiceMaker3 for Win95/98

WAVE ファイル登録

WAVE ファイルを接点・アドレスに割り付けます。

プログラム再生登録

組立再生 1接点8 wave ファイル max. リピート回数設定 5回 max.

カードデータ作成

カードデータファイル(***.wpj)を作成します。

レポート作成

上記の登録内容を印刷できます。

10. 設置方法

下記の方法により設置できます

(注) 「設置参考図」を参照して下さい

設置方法	備考
ビス止めによる設置	
DINレールに専用取付足を使用しての設置	専用取付足:CKD-120(タカチ)
専用L金具を使用しての設置	専用L金具:WAV-LKANAGU 1組2個

11. 接続

本書記載の「各部の名称・機能」「接続参考図」を参照し、接続して下さい。

(注)

1. 接続する場合、必ず電源を切って下さい。
2. DC電源には+・-の極性がありますのご注意下さい。
3. 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。
4. 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
5. 信号入出力、SP、LINEの配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。

VoiceNavi

6. 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。

1 2 . 設定

本書記載の「再生モード」「タイマー」を参照し、モードスイッチを設定して下さい。

(注) 必ず、電源を切って行って下さい。電源 ON 時に設定内容を識別します。

1 3 . WAVE ファイル製作、カードデータ製作、スマートメディアへのコピー

1 . WAVE ファイル製作 (パソコン録音)

サウンドブラスター(互換)サウンドボード等で MIC、ライン入力で録音できます。
S/N 比の良いサウンドブラスターゴールド、USB 対応のサウンドユニットでの録音を推奨します。
録音したデータの加工・編集はサウンドブラスター等に添付されているソフトウェアで行います。
一般的にはメッセージの前後の無音をカットして、ファイル名を付記して保存します。このファイルが WAVE ファイルです。

フリー音源 CD の WAVE ファイルもご使用できます。

2 . カードデータ作成

カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 で、上記の WAVE ファイルを WAV シリーズ上で使用できるように、各接点 (アドレス) に WAVE ファイルを割り付けます。また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。

3 . スマートメディアへのコピー

上記の WAVE ファイルとカードデータファイルをスマートメディアにコピーします。

スマートメディアのフォーマット (初期化)

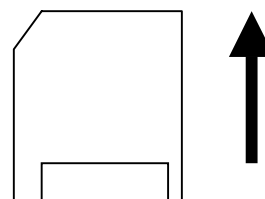
スマートメディアはパソコンでフォーマット (初期化) してからご使用下さい。

なお、フラッシュバス使用の場合、フラッシュバス添付のユーティリティソフトで行って下さい。

1 4 . スマートメディアのセット

金色の接触部を下にし、カードコネクタに軽く、水平に挿入します。
最後まで確実に挿入して下さい。

スマートメディアの金色の接触部が下になります。
スマートメディアの切り欠きが有る方が前方左側になります。



1 5 . メッセージ / 接点・アドレス対応

カードデータ作成時、VoiceMaker3 のレポート作成機能で、WAVE ファイル登録内容、プログラム再生登録内容などが表示、印刷できます。

VoiceMaker3 上の各画面の No. と接点 (アドレス) の関係は次の通りになります。

WAVE ファイル登録のみの場合は、その No.

プログラム再生登録を行った場合は、その No.

VoiceNavi

1. 接点制御の場合

(一般的な再生モードの場合)

No.	接点(CN1)
01	SW1
02	SW2
03	SW3
04	SW4
05	SW5
06	SW6
07	SW7
08	SW8

(順番再生モードを使用する場合) 入力信号は/OP

詳細は「再生モード」参照。

No.	/OP 信号入力回数
01	1
02	2
03	3
04	4
05	5
06	6
07	7
08	8
09	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16

2. バイナリ制御の場合

バイナリ制御時は VoiceMaker3 の No. とホスト側の制御アドレス (HEXデータ) は以下の様になります。

No.	チャンネル/CH	制御アドレス(D0~D7)
001	1CH	01h
002	2CH	02h
003	3CH	03h
004	4CH	04h
・	・	・
・	・	・
055	55CH	37h
056	56CH	38h
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・
128	128CH	80h

入力論理は“負”論理

ALL“L”=FFh

ALL“H”=00h

VoiceNavi

16. プログラム再生登録機能

カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 のプログラム再生登録で登録された場合、再生時に登録した内容により、組立再生したり、リピート回数分再生します。

登録内容を変更する場合は VoiceMaker3 で変更し、再度、カードデータ (.wpj) と WAVE ファイル (.wav) をコピーして下さい。

なお、WAVE ファイル自体変更ない場合はカードデータファイル (.wpj) のみのコピーでも対応できます。(前のカードデータファイルは削除します)

(内容)

組立再生 1 接点(アドレス) 8wave ファイル max.

リピート回数 5 回 max. (組立再生全体をリピートします)

17. 制御方法

1. 電源 ON 前に、モードスイッチの設定を確認します。
2. 電源 ON から約 1 秒後より、信号入力できます。
3. 接点制御時
モードスイッチにて設定した、再生モードに応じた信号入力を行います。
4. バイナリ制御時
D 0 ~ D 7, S T 信号により再生チャンネルの設定及び再生を起動します。
また、制御信号として /STOP (入力) /BUSY (出力) 信号があります。

(注)

モードスイッチの設定は電源オン時の設定が有効になります。

順番再生モードは /OP に信号入力を行います。

タイマーを設定した場合、タイマーが作動しますのでご注意ください。

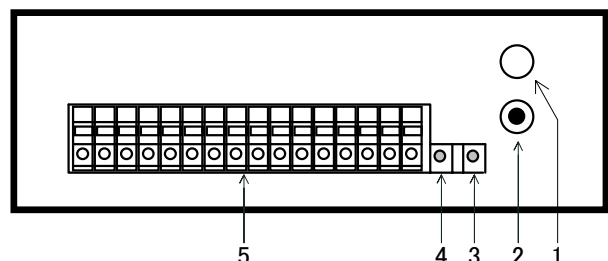
18. 音量調整

出力	出力内容	調整方法
ライン出力	600 -6dBm 不平衡	固定
スピーカー出力	5W max.8	可変ボリューム VR 1

19. 各部の名称と機能

フロントパネル (WAV2000)

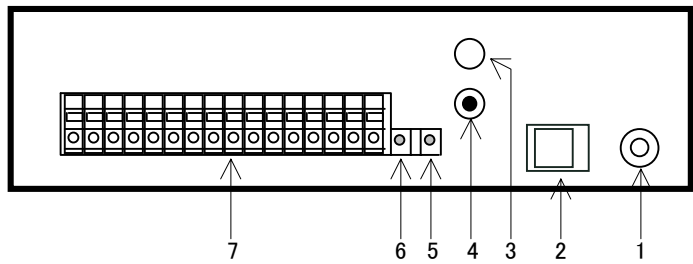
No.	名称
1	LINE OUT 取出口(カバー有り)
2	音量調整用ボリューム
3	再生中LED
4	電源LED
5	スクリューレス端子台



フロントパネル (WAV2000 - AC)

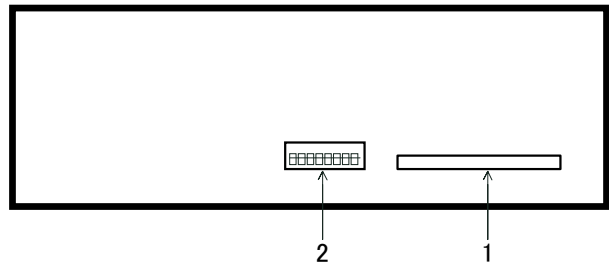
VoiceNavi

No.	名称
1	AC100V電源用コード
2	ヒューズホルダー(0.5Aヒューズ)
3	LINE OUT取出し口(カバー有り)
4	音量調整用ボリューム
5	再生中LED
6	電源LED
7	スクリューレス端子台



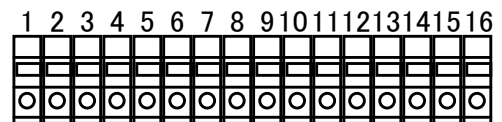
リアパネル (WAV2000 / WAV2000 - AC共通)

No.	名称
1	カード挿入口
2	モードスイッチ



スクリューレス端子台 (WAV2000 / WAV2000 - AC共通)

No.	表示	I/O	レベル(H/L)	説明
1	COM	I		信号用GND
2	1	I	L	SW8/D7
3	2	I	L	SW7/D6
4	3	I	L	SW6/D5
5	4	I	L	SW5/D4
6	5	I	L	SW4/D3
7	6	I	L	SW3/D2
8	7	I	L	SW2/D1
9	8	I	L	SW1/D0
10	STOP	I	L	ストップ信号入力
11	OP	I	L	/STB信号入力
12	BUSY	O	L	ビジー信号出力
13	+(SP OUT)	O		スピーカ出力+側
14	-(SP OUT)	O		スピーカ出力-側
15	+(DC IN)	I		DC+24V電源入力
16	GND(DC IN)	I		同上一入力



サトーパーツ: ML-800S1H16P

(注)適合電線

燃線: $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ (AWG22 ~ AWG16)

素線径: 0.18以上

2.0. 使用電源

WAV2000

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC電源	DC+24V ± 10%	約 140mA	約 500mA	左記消費電流はDC+24V時

VoiceNavi

(注)

DC 電源は、できるかぎり電圧変動がない電圧でご使用下さい。使用可能電圧 DC+21.6V~26.4V
非常放送、防災放送でご使用する場合は、非常用 DC 電源経由でご使用下さい。

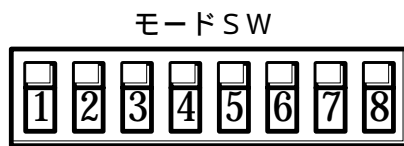
WAV2000-AC

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC100V 電源	AC100V ± 10% 50/60Hz	約 80mA	約 250mA	ヒューズ 0.5A
DC 電源	DC+24V ± 10%	約 140mA	約 500mA	左記消費電流は DC+24V 時

(注)

自動切替になっていません。単一電源でご使用下さい。

2.1. モードスイッチの設定



次のモードが設定できます。

- 再生モード
- タイマーモード
- 接点制御 / バイナリ制御
- 電源オン再生

(注)必ず、電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

(再生モード設定)再生モード内容については後記参照。

1	2	3	4	5	6	7	8	機能
—	—	—	—	—	OFF	OFF	OFF	通常再生モード
—	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	入力中再生モード
—	—	—	—	—	OFF	ON	OFF	順番再生モード
—	—	—	—	—	ON	ON	OFF	優先順位再生モード
—	—	—	—	—	OFF	OFF	ON	後入力切替再生モード
—	—	—	—	—	ON	OFF	ON	順次記憶順次再生
—	—	—	—	—	OFF	ON	ON	記憶エンドレス再生
—	—	—	—	—	ON	ON	ON	バイナリ制御

(タイマー設定)タイマーモード内容については後記参照。

VoiceNavi

1	2	3	4	5	6	7	8	機 能
—	—	OFF	OFF	OFF	—	—	—	タイマー0秒
—	—	ON	OFF	OFF	—	—	—	タイマー10秒
—	—	OFF	ON	OFF	—	—	—	タイマー15秒
—	—	ON	ON	OFF	—	—	—	タイマー20秒
—	—	OFF	OFF	ON	—	—	—	タイマー30秒
—	—	ON	OFF	ON	—	—	—	タイマー40秒
—	—	OFF	ON	ON	—	—	—	タイマー45秒
—	—	ON	ON	ON	—	—	—	タイマー60秒

(電源オン再生) 電源ONエンドレス再生時の再生CHを設定します。

(適用再生モード) 通常再生モード

(使用上のご注意) 電源ON時、POP音が生じます。またデータ途中から再生することがあります。
この場合、WAVEファイル製作時に、データの前に無音約1秒追加処理して下さい。

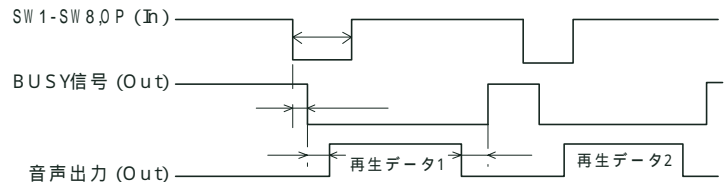
1	2	3	4	5	6	7	8	機 能
ON	OFF	—	—	—	—	—	—	電源ONでSW1の再生
OFF	ON	—	—	—	—	—	—	電源ONでSW2の再生

2.2 . 入出力信号

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-8(D0-D7)	OUT	無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ	50mS以上
/OP(ST)	OUT	無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ	50mS以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ	50mS以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC + 50V 500mA	

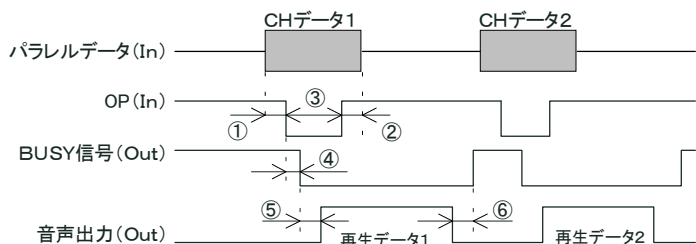
信号のタイミング (接点制御)

No.	信号名称	時間
①	SW, OP入力時間	50mS以上
②	BUSY出力タイミング	50mS
③	音声出力タイミング	10mS
④	音声終了タイミング	10mS



信号のタイミング (バイナリ制御)

No.	信号名称	時間
①	データセット時間	10ms以上
②	データホールド時間	10ms以上
③	OP入力パルス幅	10ms < OP < 100ms
④	BUSY出力タイミング	50ms max
⑤	音声出力タイミング	10ms max
⑥	音声終了タイミング	10ms max



2.3 . 再生モード

1 . 通常再生モード

用途：一般用 ほとんどのモードで処理できます。

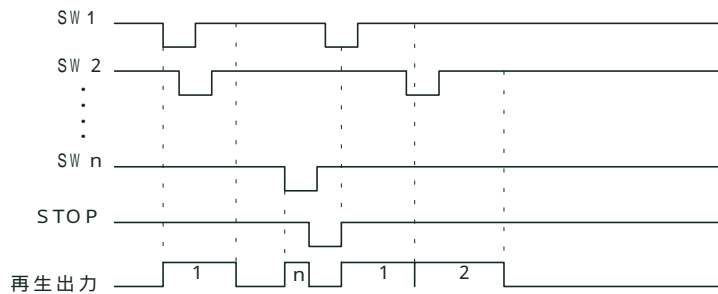
1 . ワンパルス入力時

再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力により、即停止します。

VoiceNavi

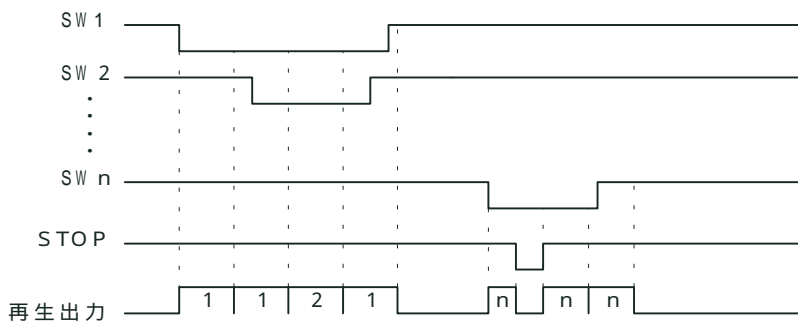


2. レベル入力時

レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



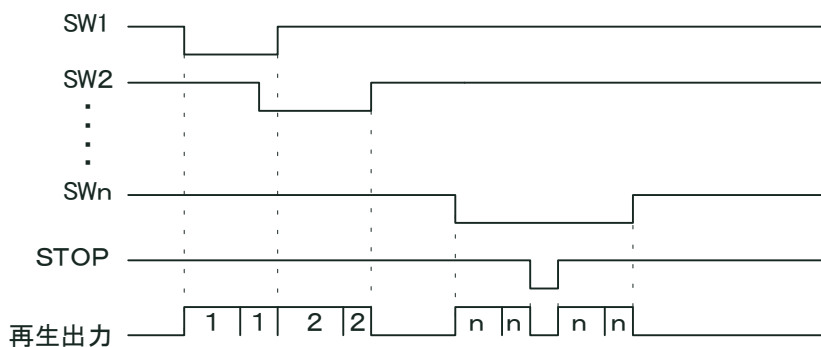
2. 入力中再生モード

用途：開演ブザー、サイレン、発車ベル・発車メロディ・発車案内放送等

再生はSW入力がある時のみ再生され、再生中は他の入力は見ません。

再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。

ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



3. 順番再生モード (インクリメント再生モード)

用途：1点出力タイマー装置による定時放送

紙芝居式音声ポスター・音声POP装置

作業マニュアル案内装置

簡易バス・電車車内放送

注意：使用する接点

/ OP 再生

/ SW1 UP

/ SW2 DOWN

/ SW3 RESET (頭に帰る)

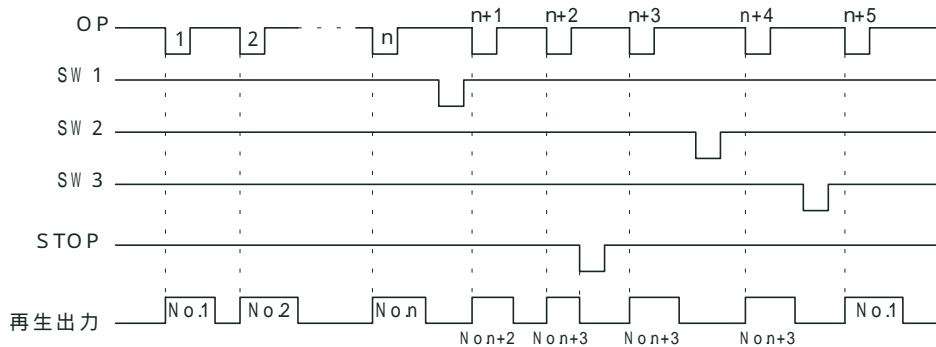
VoiceNavi

OP信号の入力により、最初から順番に再生し、最後のチャンネルまで再生すると、再び最初から再生します。再生中は他の入力は見ません。

SW 1の入力で再生チャンネルを1個アップします。SW 2の入力で再生チャンネルを1個ダウンします。

SW 3の入力で最初の再生チャンネルに戻ります。

ストップ信号入力で即停止し、次のOP信号の入力により当該チャンネルの再生を最初から再生します。



4. 優先順位再生モード

用途：BGMを優先順位の低いCHに割り付け、本スイッチONでエンドレス再生します。

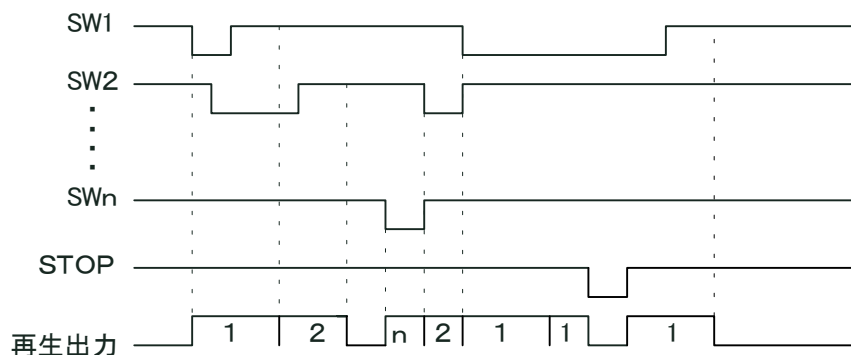
優先順位の上位の端子への入力で、「割り込み再生」します。

有線放送や外部にBGM装置がない場合、この機能でCM&BGMマシンになります。

BGMは野鳥の鳴き声や川のせせらぎなどの環境音を推奨。

再生はワンショット入力時は1回みの再生になり、レベル入力時はリピート再生になります。再生中は、当該SWより優先度の高いSWのみ検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。また、リピート再生時では、優先度の高いSWのメッセージ終了後に、再度当該SWのメッセージが、最初から再生されます。

ストップ信号入力で即停止し、リピート再生時ではストップ解除後に、再度当該SWのメッセージが最初から再生されます。



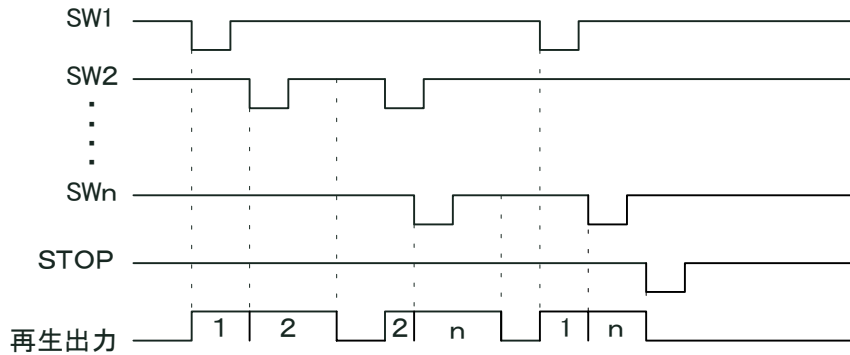
5. 後入力切替再生モード

再生はワンショット入力時のみの1回再生になります。

再生中は、当該SW以外の全てのSWを検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。

ストップ信号入力で即停止します。

VoiceNavi



6. バイナリ制御

再生チャンネルは1チャンネル(01h)~128チャンネル(80h)対応です。
チャンネルデータはOP(STB)信号の立下りで確定され、再生が起動します。

(タイミングについては、21項を参照)

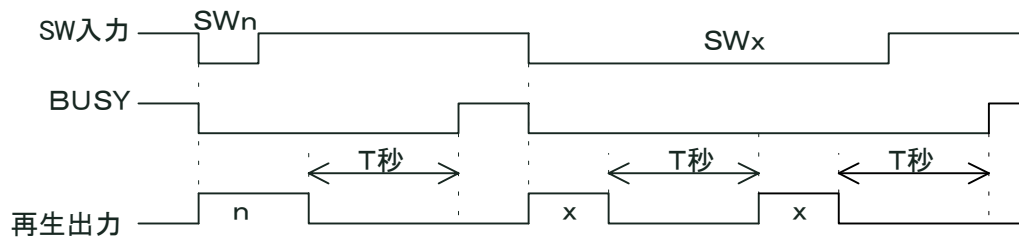
受信バッファは有りません

- ③ 再生中は受信しません(受信データ無効)が、STOP(0チャンネル:00h)のみは有効とし、再生中でも強制停止します。
- ④ 再生停止については、外部入力信号のSTOP信号(端子台)も有効です。
再生中は外部出力信号のBUSY信号(端子台)が出力されます。

2.4. タイマー

モードスイッチ1のbit3, 4, 5のいずれかがオン

SW入力にて当該メッセージが再生され、再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間(10秒~60秒)が作動し、経過後にBUSY信号がオフします。



T秒: モードスイッチ1のbit3, 4, 5により設定されたタイマー時間

2.5. 自己復旧機能(ウォッチドッグタイマー利用)

外来ノイズ等により、装置内のCPUが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりCPUに強制リセットをかけます。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。

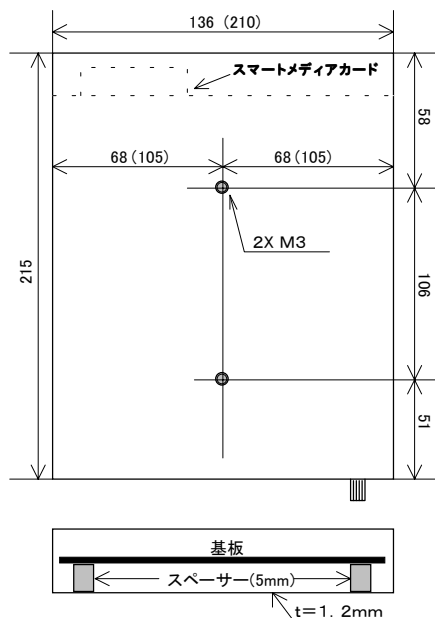
VoiceNavi

設置参考図 (WAV2000 / WAV2000 - AC 共通)

注：図中の () 内の寸法はWAV2000 - ACに適用

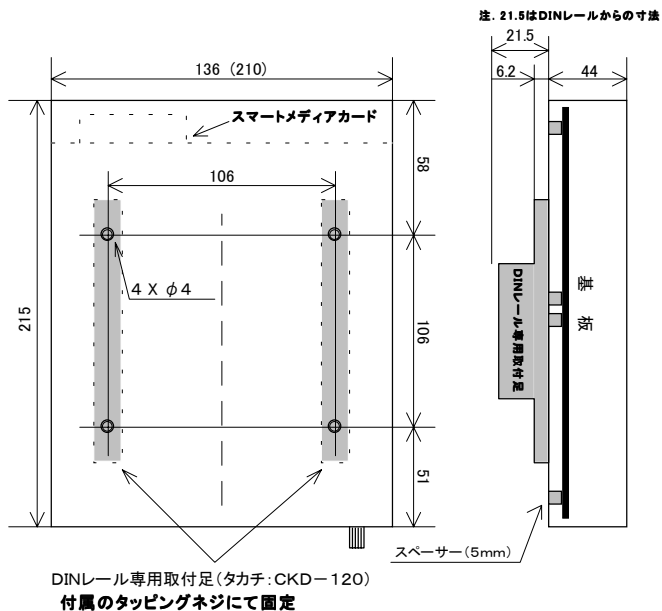
1. ビス止めによる設置

設置図 (底面ビス止め)



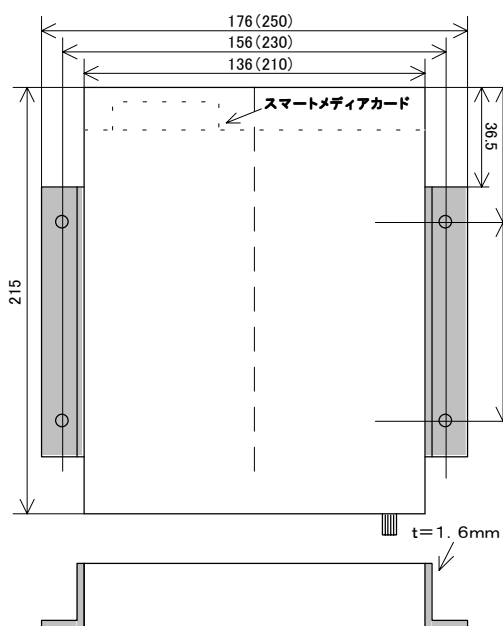
2. DINレールへの設置

設置図 (DINレール専用取付足使用時)



3. L金具使用による設置

設置図 (L金具:WAV-LKANAGU使用時)

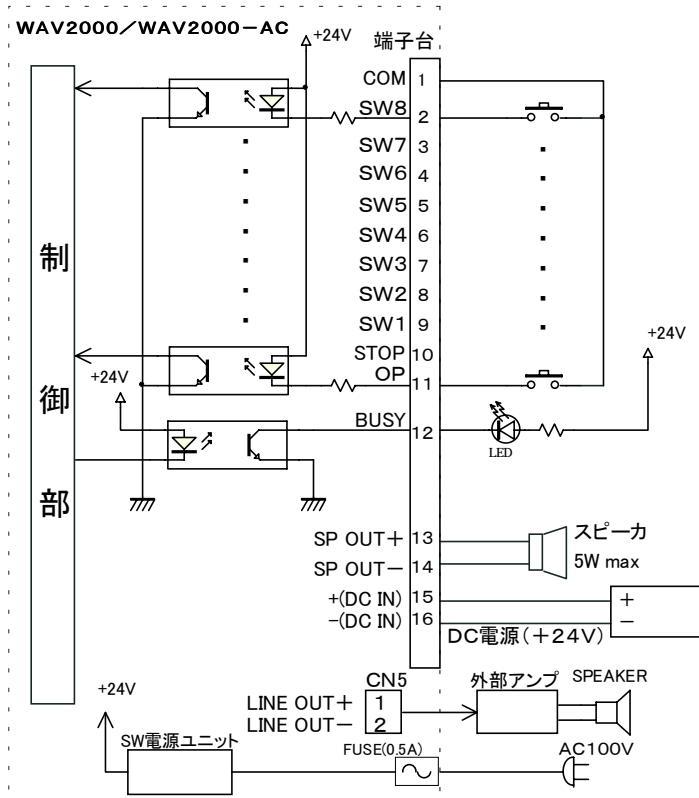


VoiceNavi

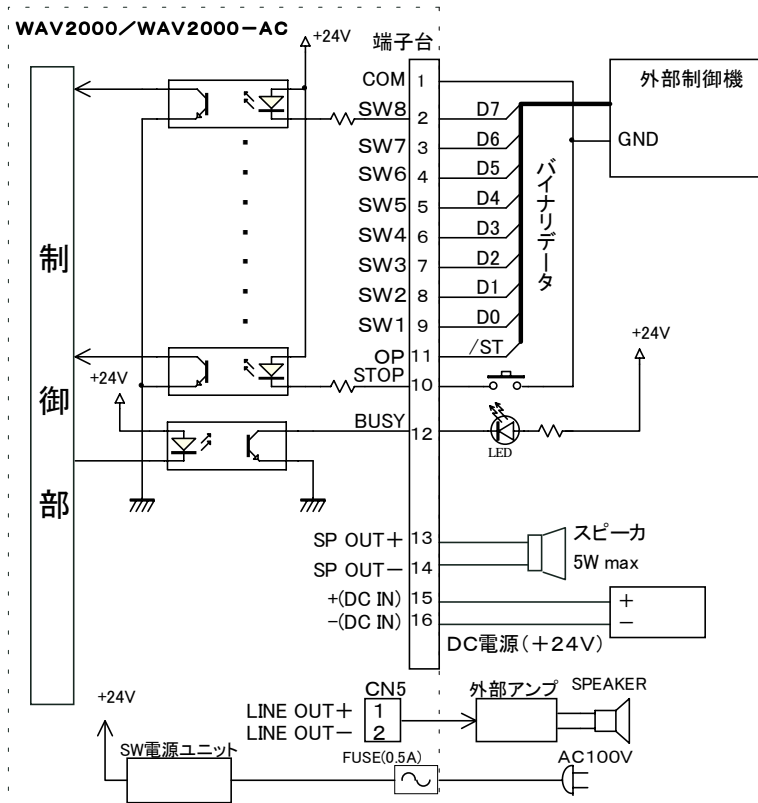
接続参考図 (WAV2000/WAV2000-AC)

注. AC100VはWAV2000-ACのみ

1. 接点制御の場合



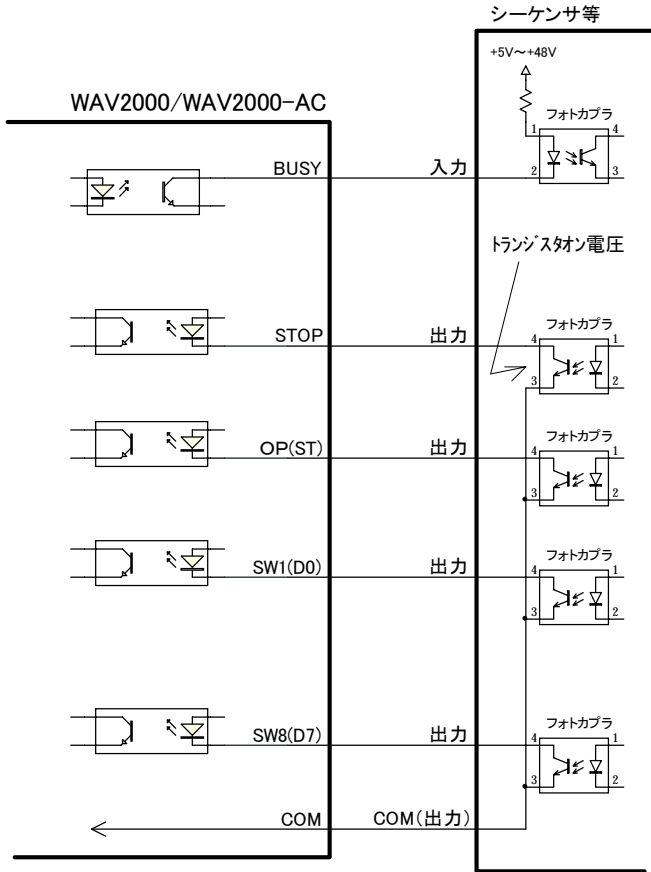
2. バイナリ制御の場合



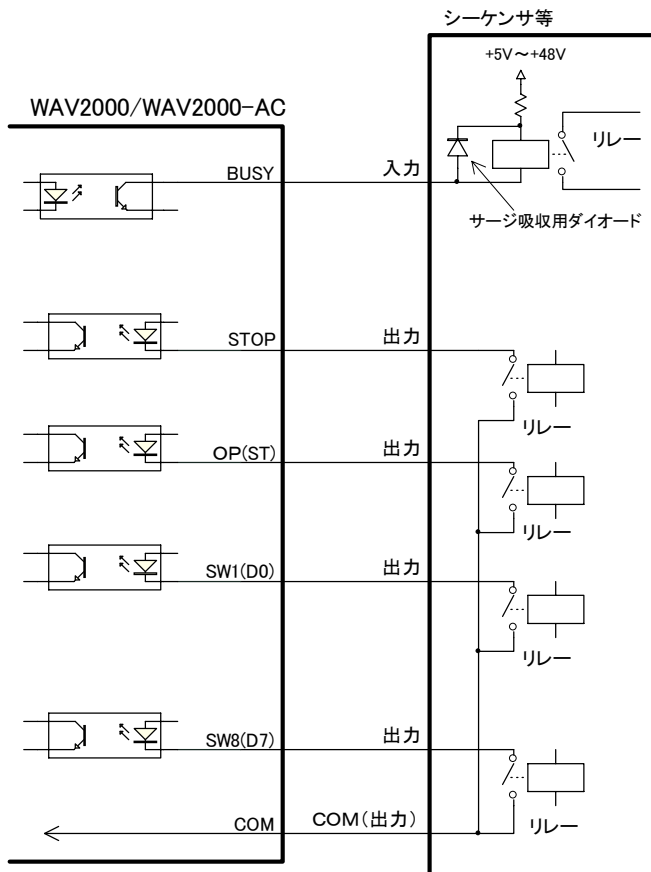
再生停止は“00h”送信にて可能ですが、“STOP”入力にて緊急停止が可能です。

VoiceNavi

3. シーケンサ等の制御機器との接続例 (参考)



トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。



リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード(繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード)を付加して下さい。

VoiceNavi

困った時に

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源LEDが点灯しない		電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		電源ヒューズ(WAV2000-AC)が切れている。	切れた原因を究明し、交換します。 ヒューズ：2B11 125V/0.5A (サ-ポ-ツ)
再生しない接点・アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
	PLAYのLEDが点滅	その接点・アドレスに対応したWAVEファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、そのWAVEファイルをコピーします。
まったく再生しない		スマートメディアがセットされていない	スマートメディアがきちんとカードコネクタに挿入しているか点検し、再セットします。
	PLAYのLEDが点滅	スマートメディアがフォーマットされていない	12項を参照の上、スマートメディアをフォーマットし、データ(wpjファイル,WAVEファイル)をコピーします。
	PLAYのLEDが点滅	カード内にカードデータファイルがない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceMaker3で作成し、コピーします。
	PLAYのLEDが点滅	WAVEファイルがカード内がない	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。 ない場合、WAVEファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
入力接点と再生する内容が合っていない。		/OP(/ST)信号のタイミング	データと/OP(/ST)信号のタイミングが規定通りであるか、確認します。(21項参照)
		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
スマートメディアがカードコネクタの奥まで入らない		設定ミス WAVEファイル、カードデータファイル漏れ	VoiceMaker3でカード内の.wpjファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします。
		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

注．LED表示について

スマートメディアカードに於けるトラブルの確認方法として、PLAYのLED(LED2,6項及び8項を参照)が点滅する様になっています。

VoiceMaker3がある場合

スマートメディア内のデータを、事前にVoiceMaker3 | CardDataフォルダーに収納するフォルダを作成してコピーします。コピー後、VoiceMaker3を起動し、WAVEファイル登録画面でカードデータファイル.wpjを読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。プログラム再生登録内容も確認できます。なお必ず、試聴して確認して下さい。またレポート作成でレポート印刷できます。

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。